

目標：要配慮者施設の避難確保計画、地区防災計画の作成支援や防災情報提供の円滑化により事前防災対策充実を行うとともに、氾濫を防ぎ減らす対策を検討し実施する

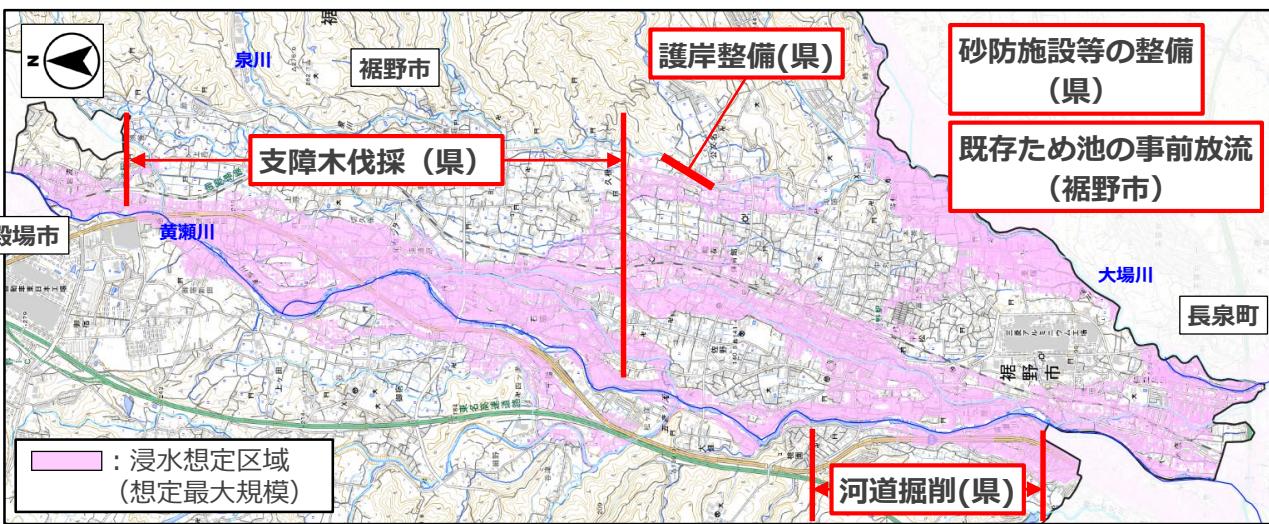
■ 流域治水プロジェクトとは

- ✓ 近年、気候変動の影響により水災害のリスクが増大しています。激甚化、頻発する豪雨災害に対し、流域のあらゆる関係者が主体的に水害対策に取り組む「流域治水」を進めていく必要があります。
- ✓ 流域治水プロジェクトは、気候変動による将来的な流出量の増加も踏まえ、長期的な河川および流域での対策の取組の考え方を念頭に、近年発生した洪水に対して被害軽減を図るため、短期、中期、中長期の施策をまとめたものです。

■ 裾野市の地形の特徴

- ✓ 裾野市は、県東部に位置し、富士山・愛鷹山・箱根山の3つの山麓斜面に囲まれており、これらの斜面が黄瀬川で集合する凹型の地形となっていることから、浸水形態は流下型（下流側へ広がりやすい）となっています。
- ✓ 裾野市内では、令和3年7月洪水にて黄瀬川沿川で床下浸水や護岸が被災するなどの被害が発生しましたが、想定最大規模の洪水発生時は、上記の地形の特徴から、令和3年7月洪水以上に多くの地区で被害が発生することが想定され、一度水災害が発生すると甚大な被害が想定されるとともに復旧までに相当な時間を要する可能性があります。

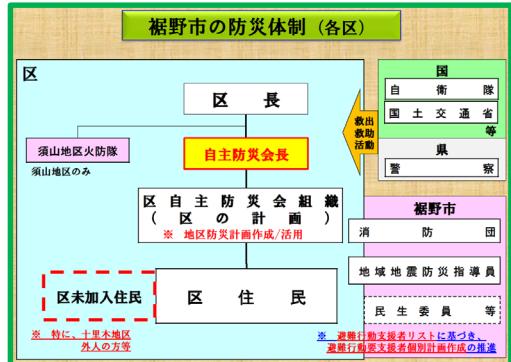
■ 裾野市および関係機関の流域治水プロジェクト取組メニュー（案）



※上記の対策は、今後の検討等により変更となる場合がある。 下図出典：国土地理院地図

■ 流域治水（裾野市版）の対策メニュー（案）

3つの対策	対策メニュー（案）	主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	黄瀬川（支川含）河川整備	県	○	○	
	砂防施設等の整備		○		
	ため池の事前放流等による調整容量の確保 排水機場の予備排水	裾野市			○
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画 ・居住や都市機能の誘導 ・居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める防災指針の作成	裾野市			○
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・内水ハザードマップの作成・利活用	裾野市	○		
	マイタイムラインの推進 およびこれを活用した訓練の実施		○		
	防災出前講座の実施		○		
	県総合防災アプリやSNSを活用した 防災情報の提供		○		
	洪水浸水想定区域内の避難促進施設の 避難確保計画の策定及び訓練の実施		○		
	要配慮者施設の避難確保計画や 地区防災計画の作成支援		○		



地区防災計画の位置づけ（図）



地区防災計画作成奨励（住民説明）



要配慮者施設の避難確保計画の検証

目標：治水と治山が連携した安心・安全なまちづくりを進める

■ 流域治水プロジェクトとは

- ✓ 近年、気候変動の影響により水災害のリスクが増大しています。激甚化、頻発する豪雨災害に対し、流域のあらゆる関係者が主体的に水害対策に取り組む「流域治水」を進めていく必要があります。
- ✓ 流域治水プロジェクトは、気候変動による将来的な流出量の増加も踏まえ、長期的な河川および流域での対策の取組の考え方を念頭に、近年発生した洪水に対して被害軽減を図るため、短期、中期、中長期の施策をまとめたものです。

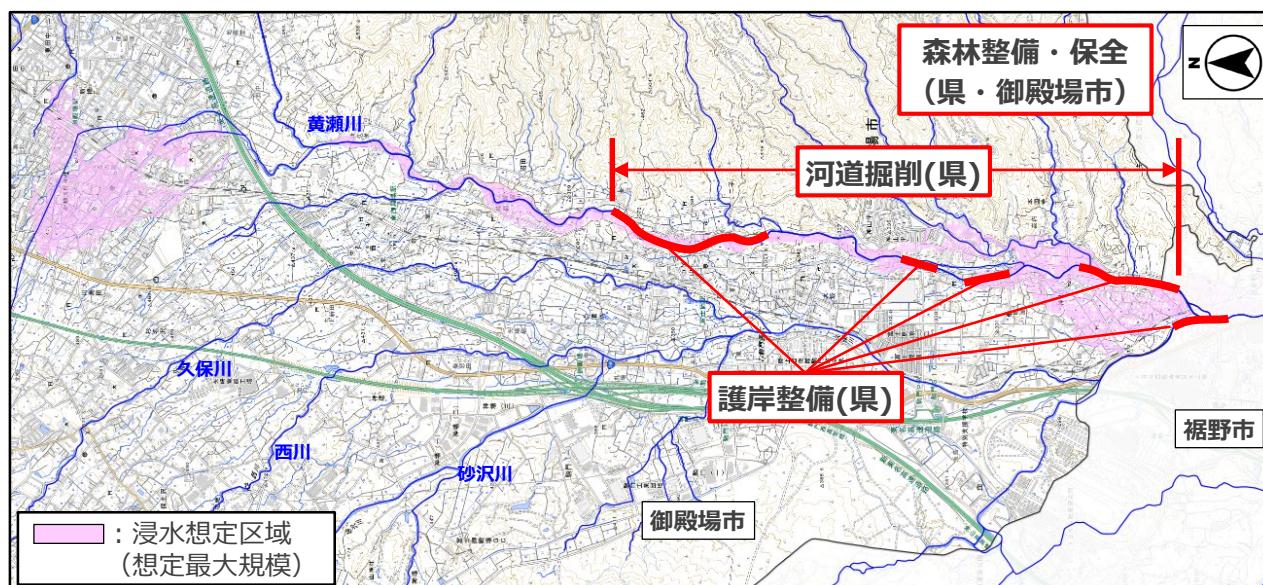
■ 御殿場市の地形の特徴

- ✓ 御殿場市は、県東部に位置し、富士山・箱根山などの山麓斜面に囲まれており、これらの斜面が黄瀬川で集合する凹型の地形となっていることから、浸水形態は流下型（下流側へ広がりやすい）となっています。
- ✓ 御殿場市内では、令和3年7月洪水にて黄瀬川沿川の複数地区で床下浸水などの被害が発生しましたが、想定最大規模の洪水発生時は、上記の地形の特徴から、令和3年7月洪水以上に多くの地区で被害が発生することが想定され、一度水災害が発生すると甚大な被害が想定されるとともに復旧までに相当な時間を要する可能性があります。

■ 流域治水（御殿場市版）の対策メニュー（案）

3つの対策	対策メニュー（案）	主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	黄瀬川（支川含）河川整備	県	○	○	
	都市計画法開発許可に伴う調整池設置の指導	御殿場市			○
	森林整備・保全	県・御殿場市			○
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・内水ハザードマップの作成・利活用	御殿場市	○		
	マイ・タイムラインの推進 マイ・タイムラインを活用した訓練の実施				○
	防災出前講座の実施		○		
	洪水浸水想定区域内の避難促進施設の避難確保計画の策定及び訓練の実施				○
	気象観測システムの構築		○		

■ 御殿場市および関係機関の流域治水プロジェクト取組メニュー(案)



土砂災害全国防災訓練



自主防災会を対象とした水防訓練（座学の部）

※上記の対策は、今後の検討等により変更となる場合がある。

狩野川流域治水の概要（長泉町版）について（検討中であり変わることがあります）

目標：長泉町雨水排水路維持管理計画に基づく普通河川整備を進め、溢水を防止する。更に、国や県などの関係機関とのさらなる協力体制を築き、住民と連携した避難体制の強化を講じていく。

■流域治水プロジェクトとは

- ✓ 近年、気候変動の影響により水災害のリスクが増大しています。激甚化、頻発する豪雨災害に対し、流域のあらゆる関係者が主体的に水害対策に取り組む「流域治水」を進めていく必要があります。
- ✓ 流域治水プロジェクトは、気候変動による将来的な流出量の増加も踏まえ、長期的な河川および流域での対策の取組の考え方を念頭に、近年発生した洪水に対して被害軽減を図るため、短期、中期、中長期の施策をまとめたものです。

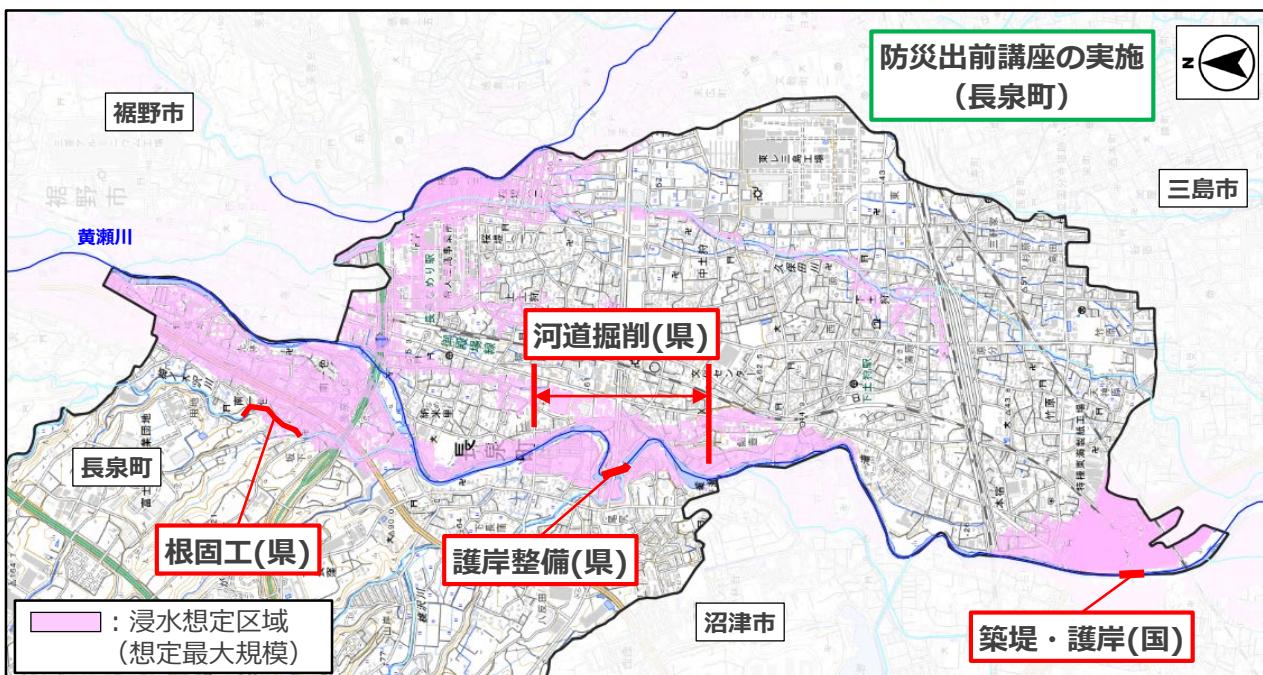
■長泉町の地形の特徴

- ✓ 長泉町は、県東部に位置し、町の北部は富士山から続く山地が大半を占め、南部は市街地が広がっており、各種工業施設も集中しています。
- ✓ 浸水形態は、山地は流下型（広がる速度が速い）、平野は拡散型（浸水範囲が広がりやすい）となっています。
- ✓ 長泉町内では、令和3年7月豪雨により黄瀬川沿川にて護岸が被災するなどの被害が発生しましたが、想定最大規模の洪水発生時は、上記の地形の特徴から、令和3年7月豪雨以上に多くの地区で被害が発生することが想定され、一度水災害が発生すると甚大な被害が想定されるとともに復旧までに相当な時間を要する可能性があります。

■流域治水（長泉町版）の対策メニュー（案）

3つの対策	対策メニュー（案）	主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	黄瀬川（支川含）河川整備	国土交通省・県	○	○	
	都市計画法開発許可に伴う調整池設置の指導	長泉町	○		
	公園緑地の整備				○
	長泉町雨水排水路維持管理計画に基づく普通河川整備				○
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画 ・居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める防災指針の作成	長泉町	○		
	地区計画の活用 集約都市形成支援事業を活用した災害ハザードエリアからの移転促進に向けた調査				○
	土地利用の適正指導		○		
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明		○		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水・内水ハザードマップの作成・利活用	長泉町	○		
	マイタイムラインの推進 およびこれを活用した訓練の実施			○	
	防災出前講座の実施		○		
	ハザードマップ内の社会福祉施設等に対する避難確保計画の策定や簡易な止水対策等の取組に対する支援		○		
	要配慮者施設の避難確保計画や地区防災計画の作成支援		○		

■長泉町および関係機関の流域治水プロジェクト取組メニュー（案）



防災出前講座の実施



ハザードマップを利用した防災教育

狩野川流域治水の概要（伊豆市版）について（検討中であり変わることがあります）

目標：狩野川上流部の河川・砂防設備等の一層の整備推進

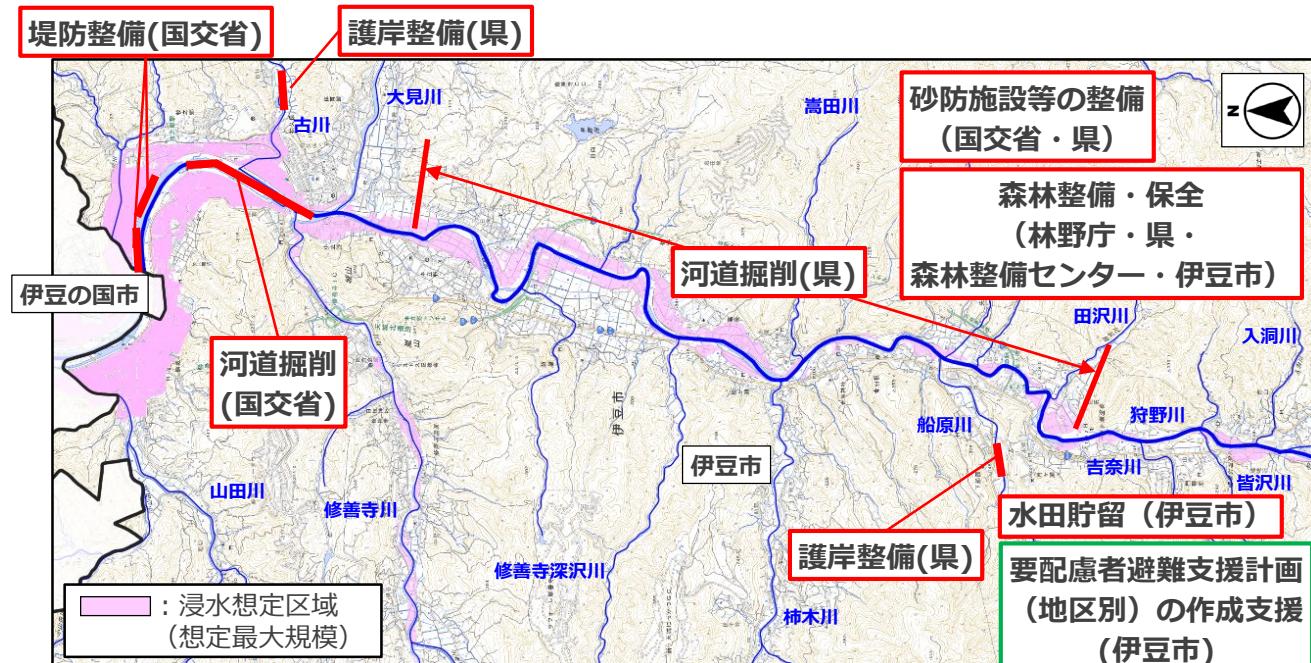
■ 流域治水プロジェクトとは

- ✓ 近年、気候変動の影響により水災害のリスクが増大しています。激甚化、頻発する豪雨災害に対し、流域のあらゆる関係者が主体的に水害対策に取り組む「流域治水」を進めていく必要があります。
- ✓ 流域治水プロジェクトは、気候変動による将来的な流出量の増加も踏まえ、長期的な河川および流域での対策の取組の考え方を念頭に、近年発生した洪水に対して被害軽減を図るため、短期、中期、中長期の施策をまとめたものです。

■ 伊豆市の地形の特徴

- ✓ 伊豆市は、狩野川流域の上流端に位置しており、大部分が山地で占められており、修善寺川合流点付近から開けた沖積平野（田方平野）が広がっており、浸水形態は山地は貯留型（その場に留まる、浸水深が深くなりやすい）、平野は拡散型（浸水範囲が広がりやすい）となっています。
- ✓ 伊豆市内では、平成16年に支川の修善寺川が被災して以降、河川整備の進捗により狩野川本川・支川ともに越水などの水災害は生じていませんが、想定最大規模の洪水発生時は、上記の特徴から、市内全域の多くの地区で被害が発生することが想定されることから、一度水災害が発生すると甚大な被害が想定されるとともに復旧までに相当な時間を要する可能性があります。

■ 伊豆市および関係機関の流域治水プロジェクト取組メニュー（案）



■ 流域治水（伊豆市版）の対策メニュー（案）

3つの対策	対策メニュー(案)	主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	狩野川（支川含）河川整備	国土交通省・県	○	○	○
	都市計画法開発許可に伴う調整池設置の指導	伊豆市	○		
	水田貯留の推進（水田の保全等）				○
	砂防施設等の整備	国土交通省 林野庁・県 森林整備センター 伊豆市	○	○	○
被害対象を減少させるための対策	土地利用の適正指導 立地適正化計画 ・居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める防災指針の作成	伊豆市	○		
	地区計画の活用 集約都市形成支援事業を活用した災害ハザードエリアからの移転促進に向けた調査				○
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	洪水ハザードマップの作成・利活用	伊豆市	○		
	被災後の早期復旧・復興を図るための洪水浸水区域の土地情報の整備		○	○	○
	マイタイムラインの推進およびこれを活用した訓練の実施		○	○	○
	防災出前講座の実施		○	○	○
	県総合防災アプリやSNSを活用した防災情報の提供		○	○	○
	災害時避難行動要支援者の個別避難行動計画・避難生活の安全を図るための「災害時ケアプラン」作成に向けた支援		○		
要配慮者施設の避難確保計画や地区防災計画の作成支援				○	



森林整備・保全イメージ（作業中）



水田貯留イメージ（水田の保全等）



防災出前講座イメージ

※上記の対策は、今後の検討等により変更となる場合がある。

下図出典：国土地理院地図